

登録コード	SD401100	開講年度	2026					
授業題目	地質学入門実習				担当教員	常盤 哲也		
英文授業名	Exercises in Introductory Geology				副担当			
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限		対象学年	1年
講義室	理学部第12講義室			授業形態	実験	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ							
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				地球学を学ぶ上で必要な基礎的知識を身に付けることができる。			
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				地球学に関する基礎的調査技術と取りまとめる方法を身に付けることができる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	地球学を学習する上で最低限必要な基礎知識の習得とともに、野外調査や自然観察に必要な基礎知識・技術・安全確保について解説を行なった上で、野外実習の実体験を通してそれらの体得を行う。さらにレポートや論文の書き方、データの表示法についての解説や演習を行った上で、岩石や鉱物などの地球を構成する主要な単元の成り立ちについて、各自で分担する課題として学習し、授業中に発表および質疑応答を行うことを通して、学術的情報を応用した成果の取りまとめ方法について習得する。							
(5)授業のキーワード	地球の構成, 岩石の分類, 主要造岩鉱物, 野外調査, 安全確保, 信州の地質							
(6)授業計画	1. ガイダンス・野外調査における必要装備と安全確保（野外調査や自然観察に必要な技術・安全確保） 2. 女鳥羽川の堆積過程と調査用具の使用法（野外調査や自然観察に必要な技術・安全確保） 3. 梓川の礫種調査とハンマーの使用法（野外調査や自然観察に必要な技術・安全確保） 4. 美ヶ原調査実習（岩石・造岩鉱物の分類および信州の地質） 5. 入笠山調査実習（岩石・造岩鉱物の分類および信州の地質） 6. 主要造岩鉱物と火山灰の特徴（地球学基礎知識） 7. レポートと論文の構成・書き方, 発表の構成・方法（成果の取りまとめ方法） 8. 課題発表会・授業アンケート							
(7)成績評価の方法	実習についてのレポート：70点 設定課題についての発表：30点							
(8)成績評価の基準	レポートおよび発表は、理解度および記述の正確性に応じて評価する。また、発表においては、質疑に対する応答の適格性に応じて評価を行う。理解度・正確性・適格性が極めて優れていればS（100～90点）、優れていればA（89～80点）、十分身に付けていればB（79～70点）、身に付けていればC（69～60点）、身に付けていなければD（60点未満）とする。							
(9)事前事後学習の内容	受講生ごとに発表課題を与えるので、その課題について学習する。							
(10)履修上の注意	本講義は新入生ゼミナール（水3）と密接不可分の関係にあるので、併せて履修のこと。また発表会では、基礎的な専門知識と信州の自然環境や野外実習での地質見学に関連した課題を各人に与える予定。野外実習を行うため、学生研究災害傷害保険に必ず加入のこと。							
(11)質問,相談への対応	随時, 担当教員の部屋（理学部C棟410号室）にて行う。							
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	指定しない。							